

WaiwaiPLAY パーク 2023

9月18日、Waiwai ドームしもつまにおいて、WaiwaiPLAY パーク2023が開催され、オープニングイベントとして、元サッカー日本代表の永井雄一郎さんがゲストとして参加しました。

WaiwaiPLAYパークは、スポーツの専門家により監修された様々なスポーツの動きを取り入れながら、楽しく運動スキルを学ぶことができる運動遊び教室です。通常教室は、4歳児から小学校6年生までを対象に、令和6年1月までの毎週水曜日の放課後に様々な講師を迎え開催されます。

この日参加した小学生は、「プロのサッカー選手と一緒にプレーができて楽しかった」と話していました。

申込み・詳細はこちら →

📍 都市整備課



スマイルキッズが全国3位に



8月7日から10日にかけて東京都で開催された「第43回全日本バレーボール小学生大会全国大会」において、スマイルキッズスポーツ少年団（鈴木伸一監督）が全国3位に輝き、菊池市長を表敬訪問しました。

各都道府県から代表の51チームが参加しました。1日目の開会式は茨城県代表として堂々と行進し、2日目から試合が始まり、各地区から勝ち上がったチーム同士、白熱したプレーが見られました。日頃の練習の成果もあり、準決勝まで進み、3位と優秀な成績を収めることができました。

羽田七望さん（宗道小学校・5年生）は、「次の大会も茨城県代表として、関東大会で優勝したい」と次の試合に向けての意気込みを語りました。

📍 生涯学習課



大宝八幡宮でタバカ祭り

9月2日の夜、大宝八幡宮において、「タバカ祭り」が開催されました。

この祭りは、応安3年(1370年)に敷地内で火災があった際、畳と鍋蓋で火を消し止めた故事を再現したものとされ、畳と鍋蓋を石畳に勢いよく叩きつけて消火する様子から出る「バタン、バタン」という音から「タバカ」の名が起ったと伝えられています。両手にたいまつを持った白装束姿の若者が境内を駆け巡る際に飛び散る火の粉を浴びると火の災いを避けられると伝えられています。

拝殿での厳粛な神事後、白装束姿の7人の若者が畳や鍋蓋を石畳に叩きつけ、たいまつを両手に持って振り回しながら集まった参拝客を追い駆けると、火の粉が舞うたびに境内に歓声が沸き起こりました。



オモテ



ウラ



関東鉄道からリフレクター寄贈

9月14日、市役所において関東鉄道株式会社から小学校1年生を対象にリフレクター（反射材）320個の寄贈があり、寄贈式が行われました。

このリフレクターは、キーホルダー式で両面が光る構造になっており、ランドセルや小物等に付けることで、夜道でも車のライトを反射し、交通事故の防止に効果があるものです。さらに、QRコードを読み込むことで、警察相談ダイヤルや防犯アプリ、不審者情報マップなどのリンク集にスムーズに遷移できる仕組みになっています。

📍 学校教育課

筑波銀行私募債を活用し市へ寄附

8月8日、有限会社 三栄商事（下妻市原）が発行した筑波銀行の私募債を活用して、市へ6万円の寄附金をいただきました。

この私募債は、筑波銀行が提供する寄贈サービス付きSDGs私募債「地域の未来応援債」により、筑波銀行が受け取る発行手数料の一部を地域に寄附又は寄贈するサービスが付いたもので、持続可能な地域社会を実現のため、地域の未来を応援することを目的とするものです。

三栄商事の渡辺社長は、「市のために使っていただきたい」と話していました。

📍 秘書課



左から小林筑波銀行下妻営業部長、渡辺三栄商事社長、菊池市長